

「岡山オルガノン」の構築 学士力・社会人基礎力・地域発信力の融合を目指した教育

岡山オルガノン 大学教育連携センター

木村 宏、佐藤 大介

Keywords : 総合的教育充実事業、教育共有、地域活性化の担い手となる人材育成、
FD・SD 活動、キャリア形成教育

取組概要

岡山県では、3年前に産学官連携による活動組織である大学コンソーシアム岡山を設置し活動を開始した。その結果、各大学が個別に実施している優れた取組の存在が明らかになったので、新たに「岡山オルガノン」を構築し、互いに連携して各取組を発展・充実させ、地域活性化の担い手となる人材育成に資する総合的教育充実事業として興すことにした。

本事業の目標は、学士力、社会人基礎力、地域発信力の向上であり、これらを融合させることで地域創生型の人材を育成する。具体的には、e-Learning 方式による教育共有の実現、FD・SD 活動の共同実施、学生個々のコンピテンシー向上を目指すキャリア形成教育の共同実施と教育指導者の育成、地域創生・環境教育に関わる教養教育の創出、地域経済界との連携による人材育成教育などである。全大学が特色を生かしつつ、積極的に本事業に取り組み、新たな地域貢献を実現させる。

本取組は平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」選定取組であり、岡山理科大学を代表校とし、岡山県内の15大学（岡山理科大学、岡山大学、岡山県立大学、岡山学院大学、岡山商科大学、川崎医科大学、川崎医療福祉大学、環太平洋大学、吉備国際大学、倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、山陽学園大学、就実大学、中国学園大学、ノートルダム清心女子大学）が連携し事業の推進を図っている。



図1 取組概要図